

「令和2年度富山県環境科学センター研究成果発表会」を開催しました。

11月16日、富山県民会館において環境科学センターの研究成果発表会を開催しました。

国立環境研究所気候変動リスク評価研究室 室長の塩竈秀夫氏から基調講演をいただくとともに、当センターの職員から2件の研究成果発表と4件のポスターセッションを行いました。

- 1 日 時 令和2年11月16日（月）13時30分から16時まで
- 2 場 所 富山県民会館304号室
- 3 参加者 57名
- 4 内 容

（1）基調講演

「近年の異常気象と地球温暖化」

国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター
気候変動リスク評価研究室 室長 塩竈 秀夫 氏

（2）研究成果発表

①立山の融雪モニタリングによる気候変動の影響の評価

大気課 研 究 員 袖野 新

②PM2.5の自動車発生源の寄与について

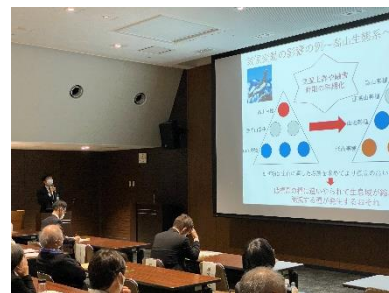
大気課 主任研究員 藤島 裕典

③ポスターセッション

- ・ 富山湾沿岸海域における栄養塩類の動態特性に関する研究（水質課）
- ・ 中小河川の自然的要因による水質汚濁特性に関する研究（水質課）
- ・ 災害廃棄物の再生利用に関する研究（生活環境課）
- ・ 災害時における化学物質の初期モニタリングに関する研究（生活環境課）



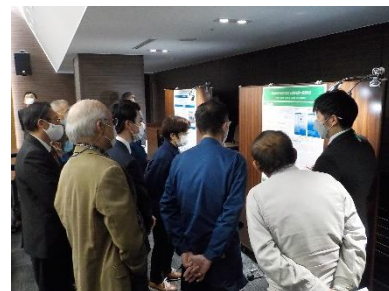
塩竈室長による基調講演（Web会議ツール）



研究成果発表①



研究成果発表②



研究成果発表③（ポスターセッション）